

平成27年度緑中学校学校経営プラン

緑中学校の今日的使命

家庭・地域との連携により

- 安心・安全で魅力ある学校生活の場の提供と「育て合い、学び合う」学校を目指します。
- 「自己肯定感の高い子ども」を育て「自治の精神」を以って地域づくりに貢献します。

1 学校教育目標

(1) 教育目標の根幹

人間として自己を実現することは、すべての人の生涯の目標である。その目標を達成させるべく教育の使命は、人間としての発達のもラトリアム（猶予期間）を認識しつつ、個性を發揮するとともに、社会に貢献できる人間性を培うことにある。学習指導要領は、教育基本法に基づく教育の理念を踏まえ、「生きる力」の育成、知識・技能の習得と思考力・判断力・表現力等の育成、道徳教育や体育などの充実により、豊かな心や健やかな体を育成することを基本的なねらいとしている。

本校においては、生涯を通して自己を見つめ、自分にとっても他にとっても善いことを各人の個性を持って実践していくことのできる態度の育成をめざし、**生涯を通じて学ぶ力と、思いやりのある豊かな心と、生徒自らが自己を陶冶したくましく生きる力を培うこと**を学校教育の根幹としている。

(2) 学校教育目標

「 誠 」

誠実に学び、高い志をもつ生徒を育てる。

「 朗 」

共に支え合う、清らかで人間性豊かな生徒を育てる。

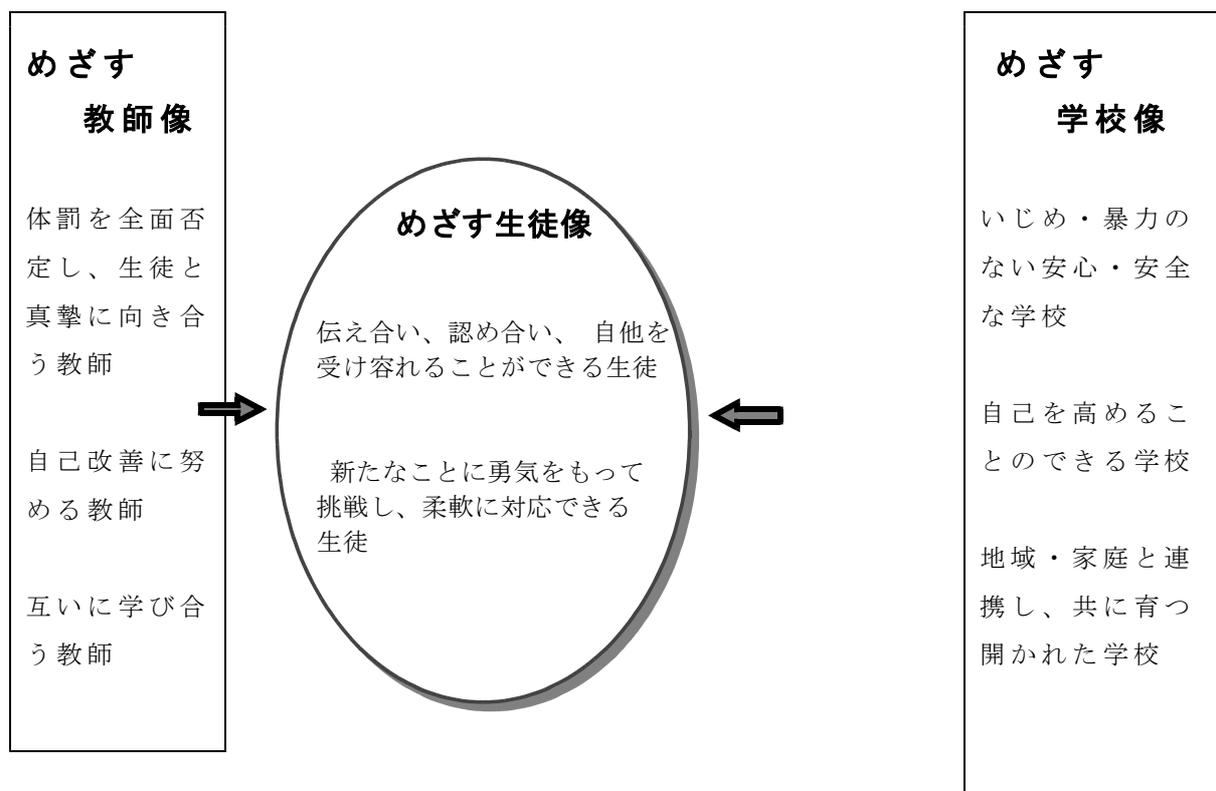
「 韌 」

未来を切り拓く、しなやかでたくましい心と体を育てる。

(3) 学校スローガン

Be cheerful !

(4) めざす生徒像・教師像・学校像



2 学校経営方針

経営方針

- (1) 人材育成に努め、各組織のチーム力と学校運営の活性化を図る。
- (2) PDCAサイクルを基に、学校評価による課題の明確化と改善を推進する。
- (3) 小規模校の利点を活かした授業の形態や指導の工夫等、授業改善に努め、一人一人の生徒を伸ばすことにコミットする。
- (4) 義務教育における「学び」と「育ち」の連続性を目指し、小中連携を推進する。
- (5) 人権、道徳の視点から、人の育ちを促す学校と家庭・地域の連携を推進する。

本年度の指導の重点

- (1) 信頼関係を築き、士気が高まる学級経営を実践する中で、意志力を育てる。
- (2) 自己内省と自他の承認を習慣づけ、心の内面の発達とコミュニケーション力向上の一助とする。
- (3) 自治の精神をもって生徒会活動を活性化させる。
- (4) 興味・関心を高める指導を工夫し、基礎的基本的な知識・技能を確実に定着させることにより、主体的に学ぶ意欲を引き出す。
- (5) 支援が必要な生徒（家庭）への相談活動とサポートチームを充実させる。
- (6) 英語教育、数学教育の充実を図る。